

学校名 [高砂中学校] [中] 学校 [2019] 年版 単元名 [自分を守る] P36~37 教科・領域名 [総合] [時間 50分]
--

主な学習活動	指導の実際
--------	-------

【ねらい】
 災害時に起こりえる学校内等での危険について具体的に予測し、安全確保の手順や優先順位を整理することができるようにする。

- *各班ごとにわかれ、各班長が司会をして話し合いを進める。
 ・自分の考えを発表しながら班のホワイトボードに書く。
 ・班ごとに発表する。

1 地震から身を守るために。

(1) 「学校で大地震が起こったとき、どのような危険が考えられるか」副読本 P36 参照

- (生徒の答)
 [落下物、物の破損、倒壊の危険]
 ・蛍光灯の落下、窓が割れる、机が倒れる、避難経路に物が落ちる。
 ・ロッカーなどが倒れる。
 [避難できない危険]
 ・ドアが開かなくなる。
 [他の人の行動に伴う危険]
 ・避難時に転んでいる人がいる。
 [ガス、水道管の危険]
 ・調理実習や実験で火を使っている火事になる危険。

(2) 「分類した危険の中で、命に関わる危険性の高いものを3つ選び理由を考えよう」

- (生徒の答)
 [窓ガラスや蛍光灯が割れて落下]
 ・飛び散ってくることで大けがする危険性がある。
 [ロッカーなどが倒れる]
 ・おしつぶされて命を落とす危険性がある。
 [避難時に転んでいる人がいる]
 ・階段などでドミノ倒しとなり、大けがをするかもしれない。
 [ドアが開かなくなる]
 ・逃げられなくなり、火事が起きると命に関わる。

(3) 「3つの危険性の高い内容について、どのように対処・行動する事が適切か考えよう」

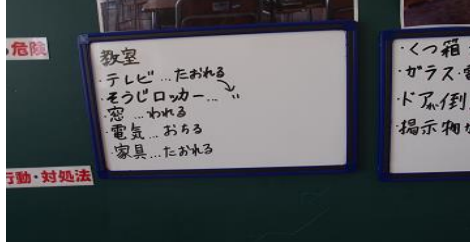
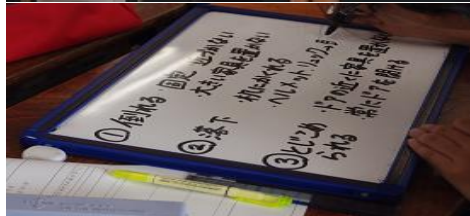
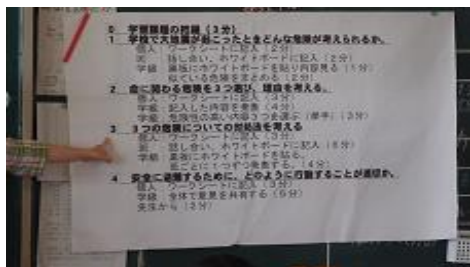
- (生徒の答)
 [窓ガラスや蛍光灯が割れて落下]
 ・窓ガラスの近くや蛍光灯の下を離れる。カーテンを閉める。ヘルメットや教科書などで頭を守る。机の下にもぐる。靴を脱がない。
 [ロッカーなどが倒れる]
 ・扉やロッカーの近くを通らない。ロッカーを金具で固定し倒れないようにする。
 [避難時に転んでいる人がいる]
 ・校舎内は走らずに避難することを徹底し、絶対転ばないように気をつける。自分も含めてまわりの人も安全に避難できるように助ける。
 [ドアが開かなくなる]
 ・地震の時ドアは開ける。すぐに外に避難する。

(4) 「安全に避難するためにどのように行動する事が適切か考えよう」

- (生徒の答)
 ・どこにいるときでも一人ひとりが自分で判断して避難できるようにする。
 ・いろいろな場所で活動しているときに全員が落ち着いて行動できるようにする。

【準備物】
 ・防災副読本 ・ワークシート
 ・ホワイトボード・カラーペン(班発表用)
 ・拡大用紙(学習課題の把握)

授業の様子



- 非常時に安全に避難するためには、日頃からの備えが大切であることに気づかせる。
 ○災害が起きたとき、教員がいる場合といない場合があることにもふれておく。教員がいる場合は指示をしっかり聞いて行動すること。いない場合は自分で判断し落ち着いて避難することを確認する。

「仙台版防災教育副読本を活用した指導事例」